

令和 6 年 度

事業報告書

(令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで)

学校法人 志學館学園

目 次

I 建学の精神	P.1
II みおしえ	P.1
III 志學館学園の概要	P.2～11
1. 各学校の基本理念等	P.2～3
(1) 志學館大学	P.2
(2) 鹿児島女子短期大学	P.2
(3) 志學館高等部・中等部	P.3
(4) 鹿児島女子短期大学附属	P.3
かもめ幼稚園・なでしこ幼稚園・すみれ幼稚園	P.3
(5) なでしこ保育園	P.3
2. 志學館学園の沿革	P.4～6
3. 志學館学園の組織	P.7
4. 各学校等の所在地	P.7
5. 志學館学園の役員	P.8
6. 各学校の状況	P.9～11
(1) 令和 6 年度 入学定員・収容定員及び学生・生徒・園児数	P.9
(2) 令和 7 年度 入学定員・入学者数	P.10
(3) 令和 6 年度 教職員数	P.11
IV 令和 6 年度 学校法人志學館学園 事業報告	P.12～30
1. 令和 6 年度短期事業計画の進捗状況	P.12
2. 令和 6 年度短期事業計画の具体的な取組内容	P.13～17
(1) 志學館大学	P.13
(2) 鹿児島女子短期大学	P.13～14
(3) 志學館高等部・中等部	P.14
(4) 鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園	P.15
(5) 鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園	P.15
(6) 鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園	P.16
(7) なでしこ保育園	P.16
(8) 学園本部	P.17
(9) 6 か年施設設備投資計画事業執行状況	P.17
3. 令和 6 年度設置校別事業計画達成度評価	P.18～29
4. 令和 6 年度設置校別 KPI 達成度評価	P.30

V 財務の概要	P.31～41
1. 令和6年度決算の概要	P.31～33
① 事業活動収支計算書関係	P.34
② 資金収支計算書関係	P.35～36
③ 貸借対照表関係	P.37
2. その他	P.38
3. 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分	P.39
4. 学校法人会計及び用語について（解説）	P.40
5. 監査報告書	P.41

I 建学の精神

「時代に即応した堅実にして有為な人間の育成」

- 「時代に即応した」とは、情勢の変化に対応して、合理的で効果的、かつ弾力的な運用を図るべきことを意味する。
- 「堅実にして」とは、人間としての教養・徳をつけること、つまり人間としての豊かさ等を意味していると解釈する。
- 「有為な人間」とは、豊かな人間性の上に、健康な体、強い意志、創造力と企画力、集団への適応と貢献の能力、科学や情報に対する理解と技術、国際人としての教養等を身につけ、国家・社会の発展に寄与しうる人間、即ち「実用」と「教養」を実現できる総合力を身につけた人間をさすものである。

II みおしえ

雪のごとく清らかに

月のごとく明らけく

花のごとく撫子の強くやさしく

創設者満田ユイは、「建学の精神」を具体的に実践する時の心構えとして親しみやすく理解するようにと、中国の詩人、白居易の詩を引用し、それになぞらえて「みおしえ」とした。根底に「人間愛」を含んだ上で、詩にある「雪、月、花」になぞらえて、雪は「清浄と貞節」を、月は「聡明な明るさと静寂」を、花は「大和撫子を現し、日本女性の美德とやさしさと芯の強さを現すもの」として説明した。

しかし、1986 年「建学の精神」の改訂を機に、今ではその女性的な文体表現にかかわらず「清く、明るく、強く、やさしく」というその内容が人間としての在り方、人の美しい生き方を表すものとして脈々と学園に継承されている。

現在「雪、月、花」は「建学の精神」を具体的に実践する時の心根を象徴するものとして、学園章・校章・学園旗及び校旗となっている。

Ⅲ 志學館学園の概要

1. 各学校の基本理念等

(1) 志學館大学

【使命】

教養と実践的な専門の学芸を体系的に教授研究し、科学的・論理的思考法、現代社会に必要な技能及び総合的な問題発見・課題解決能力を身につけ、自主性・創造性と社会に貢献する態度・志向性を持っている堅実・誠実な職業人を育成する。

【ディプロマ・ポリシー】

- 1 個性的かつ堅実な人間性、自主性、創造性が身についている。
- 2 人類の文化、社会と自然に関する豊かな教養と科学的・論理的思考法、情報技術、コミュニケーション能力を身につけ、自ら学ぶことの喜びを知っている。
- 3 実践的で体系的な専門的知識と技能を身につけ、総合的な問題発見・課題解決能力を持っている。
- 4 職業観を持ち生涯を通じて学習し続ける能力を有している。
- 5 倫理観を持った市民として地域社会の発展に貢献する高い意識を持っている。
- 6 世界の言語・社会・文化を理解すると共に、多様な人々と共生・協働できる素地を持っている。

(2) 鹿児島女子短期大学

【教育理念】

建学の精神の下、学園の伝統を継承しつつ、最新の知識と専門の学芸を教授研究し、創造力・実践力に富み、家庭に社会に個人の持つ可能性を具現できる高い教養と人間性豊かな女性を育成するとともに、国際的視点に立って社会の充実発展に寄与する人材の育成に努める。

【教育目標】

- 1 豊かな情操と高い教養を培い、心身ともに健康で調和のとれた人間像を目指して自己啓発を促す。
- 2 現代生活に即した専門的知識と実践的スキルを習得させ、自ら課題に対応する能力と創造性の発揚に努める。
- 3 人間関係に適切に対応し得る能力を養成し、その能力を円滑に機能させる社会性を培う。
- 4 自ら判断し行動する主体性を涵養し、家庭や職場の有為な人材の育成に努める。
- 5 地域との密接な連携に基づく実践的教育により、地域活性化の意欲的な担い手の育成を目指す。
- 6 国際理解の教養と態度を育成し、洗練された国際人となる素地を習得させる。

(3) 志學館高等部・中等部

【教育理念】

清新な発想のもとに「たしかな学力、ゆたかな人間性、たくましい行動力」を身につけた心身ともに健やかな人間を育成する。

【教育方針】

男女共学の進学校として「学力開発と人間性開発」を推進し、個性の伸張を図るとともに高い教養、豊かな情操を養い、意欲と情熱をもった自己教育力のある人間を育成する。

(4) 鹿児島女子短期大学附属 かもめ幼稚園・なでしこ幼稚園・すみれ幼稚園

【教育目標】

一人ひとりの幼児の個性を伸ばし、豊かな心情や主体性・創造性を育て、心身ともに健全な人間の生きる力の基礎を培う。

【めざす幼児の姿】

げんきであかるい子 なかよくあそぶ子 よくかんがえくふうする子

(5) なでしこ保育園

【保育方針】

- 1 一人一人を大切に丁寧な保育を行い、自立した生活習慣を身につけ、健康な体、豊かな情緒、素直な表現力をもてる子どもの育成に努める。
- 2 身近な環境や自然と触れ合う中で豊かな感性を育み、創造力をふくらませ、友達との関わりの中で秩序や協調性をもてる子どもの育成に努める。

【保育の目標】

「一人一人を大切に感性豊かな子ども」の育成を目指す。

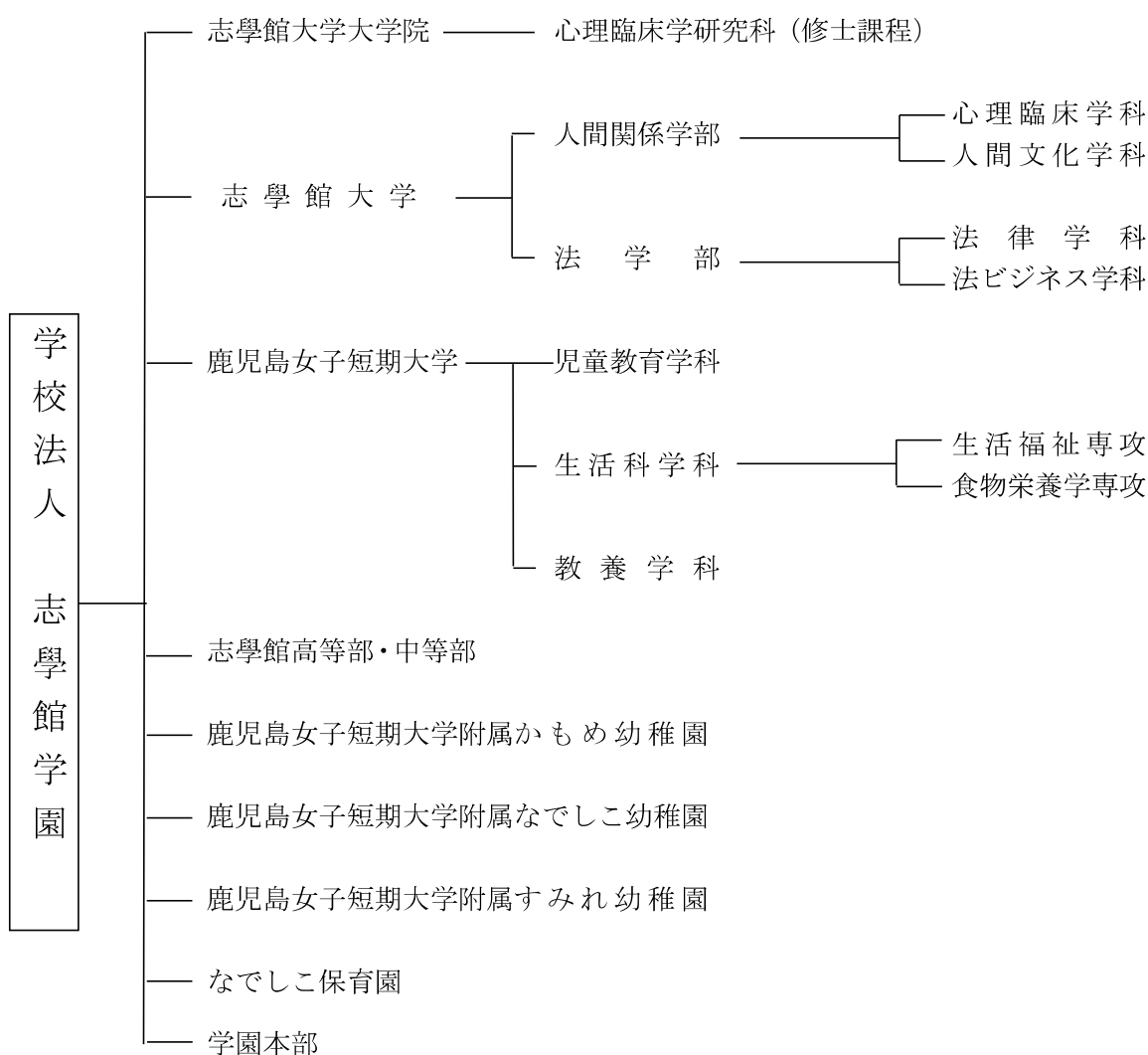
2. 志學館学園の沿革

明治40年	8月	鹿児島女子手藝伝習所開設
41年	2月	鹿児島女子技藝學校設置認可
大正15年	6月	鹿児島女子技藝學校の名称を鹿児島高等實踐女學校と改称認可
昭和23年	4月	学校教育法第1条に定める高等学校に昇格、鹿児島実践女子高等学校と改称
	4月	財団法人実践学園設立認可
26年	2月	財団法人の組織を変更し、私立学校法に定める学校法人実践学園設立認可
31年	4月	鹿児島実践女子高等学校全日制普通科開設
35年	4月	鹿児島実践学園幼稚園教員養成所開設（昭和41年3月31日廃止）
38年	5月	鹿児島実践女子高等学校附属かもめ幼稚園設置認可
40年	1月	鹿児島実践女子高等学校附属かもめ幼稚園を鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園と改称認可
	4月	鹿児島女子短期大学開設（幼児教育科）
41年	4月	鹿児島女子短期大学家政科開設
42年	4月	鹿児島女子短期大学教養科開設
42年12月		鹿児島女子短期大学家政科を食物栄養学専攻、家政専攻に専攻分離認可
43年	4月	鹿児島女子短期大学幼児教育科を児童教育科に改称
	4月	鹿児島実践女子高等学校に食物科設置
46年	4月	鹿児島女子短期大学児童教育科を児童教育学科とし、その専攻を初等教育学専攻、幼児教育学専攻。家政科を家政学科とし、その専攻を家政学専攻、食物栄養学専攻。教養科を教養学科とし、それぞれ学科名、専攻名を名称変更
49年	4月	鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園開設
50年	4月	鹿児島女子短期大学家政学科の専攻を被服学専攻、家政学専攻、食物栄養学専攻に分離変更
54年	4月	鹿児島女子大学文学部（国文学科・英文学科・人間関係学科）開設
58年	4月	鹿児島実践女子高等学校の校名を鹿児島女子大学附属高等学校と改称
59年	4月	鹿児島女子短期大学教養学科に、国語コース、社会コース、司書コース、秘書コースを開設
61年	4月	鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園開設
62年	4月	志學館中等部開設
	4月	鹿児島女子短期大学教養学科に、情報処理コースを開設
63年	4月	鹿児島女子短期大学専攻科（児童教育専攻・家政専攻・食物栄養専攻・教養専攻）開設

平成	1 年	4 月	鹿児島女子短期大学家政学科を生活科学科に名称変更
		4 月	鹿児島女子短期大学生生活科学専攻に生活科学コースと家政学専攻コースを開設
	2 年	4 月	志學館高等部開設
	4 年	4 月	鹿児島女子大学文学部英文学科を英語英文学科に改称
	6 年	4 月	鹿児島女子短期大学教養学科に国際文化コースを開設
	7 年	4 月	鹿児島女子短期大学専攻科家政専攻を生活科学専攻に改称
1 1 年		4 月	学校法人実践学園を学校法人志學館学園と改称
		4 月	鹿児島女子大学を志學館大学と改称し、法学部法律学科を開設
		4 月	鹿児島女子短期大学生生活科学科に生活福祉専攻を開設
		4 月	鹿児島女子大学附属高等学校を鹿児島学芸高等学校と改称
		4 月	鹿児島女子短期大学教養学科のコース制を廃止
1 5 年		4 月	志學館大学文学部を募集停止し、人間関係学部心理臨床学科・人間文化学科を開設
		4 月	志學館大学人間関係学部心理臨床学科に心理学コース、学校臨床コースを開設
		4 月	志學館大学人間関係学部人間文化学科に国文学コース、英語英米文化コース、日本語教育コース、社会学コース、生涯教育コース、歴史地理コースを開設
1 6 年		4 月	志學館大学人間関係学部心理臨床学科に医療臨床コース、福祉臨床コースを開設
1 7 年		4 月	志學館大学大学院心理臨床学研究科（修士課程）設置
1 8 年		3 月	鹿児島学芸高等学校廃止
1 9 年		4 月	学校法人志學館学園 なでしこ保育園開設
2 0 年		4 月	志學館大学法学部法ビジネス学科開設
		4 月	志學館大学人間関係学部人間文化学科のコースを、日本語日本文学コース、英語英米文化コース、歴史・地理コースの3コース体制へ再編
2 1 年		4 月	鹿児島女子短期大学を鹿児島市紫原から鹿児島市高麗町へ移転
2 2 年		4 月	鹿児島女子短期大学児童教育学科の専攻を廃止し学科に統合
		4 月	志學館大学人間関係学部心理臨床学科に社会産業心理コースを開設
		4 月	鹿児島女子短期大学児童教育学科に小・幼コース、小・保コース、幼・保コースの3コースを開設
2 3 年		4 月	志學館大学を霧島市隼人町から鹿児島市紫原へ移転
2 7 年		4 月	鹿児島女子短期大学児童教育学科の小・幼コースと小・保コースを統合し、小・幼・保コースを開設
2 8 年		4 月	志學館大学人間関係学部 心理臨床学科に精神保健福祉士コースを開設

	29年	4月	志學館大学人間関係学部心理臨床学科を、心理臨床実践コース、社会産業心理コース、学校教育心理コース、精神保健福祉士コースの4コース体制へ再編
	31年	3月	鹿児島女子短期大学生活科学科生活科学専攻及び専攻科生活科学専攻を廃止
令和	5年	3月	鹿児島女子短期大学専攻科児童教育専攻及び専攻科食物栄養専攻を廃止
	6年	4月	志學館大学人間関係学部 心理臨床学科にスポーツ健康心理コースを開設

3. 志學館学園の組織



4. 各学校等の所在地

・志 學 館 大 学	鹿児島市紫原1-59-1
・鹿児島女子短期大学	鹿児島市高麗町6-9
・志學館高等部・中等部	鹿児島市南郡元町32-1
・か も め 幼 稚 園	鹿児島市紫原1丁目19-20
・な で し こ 幼 稚 園	鹿児島市明和2丁目41-1
・す み れ 幼 稚 園	鹿児島市皇徳寺台4丁目44-1
・な で し こ 保 育 園	鹿児島市明和2丁目41-1
・学 園 本 部	鹿児島市高麗町5-27

5. 志學館学園の役員〔令和7年3月31日現在〕

*理事 7人以上9人以内 現員8人

役員名	勤務	氏 名	現 職
理事長	常勤	志賀 啓一	志學館学園理事長
理事	〃	志賀 壽子	志學館学園学園長
〃	〃	飯干 紀代子	志學館大学学長
〃	〃	赤塚 剛生	志學館学園本部事務局長
〃	〃	村若 修	鹿児島女子短期大学学長
〃	非常勤	清水 昭雄	志學館大学元学長
〃	〃	若松 伸一	株式会社ワカマツ自動車代表取締役
〃	〃	吉田 健朗	株式会社南日本総合サービス代表取締役社長

*監事 2人又は3人 現員2人

役員名	勤務	氏 名	現 職
監事	非常勤	大津 学	株式会社大津倉庫代表取締役社長
〃	〃	久永 修平	株式会社久永代表取締役社長

*評議員 17人以上19人以内（ただし、理事の2倍を超える人数）

現員 志賀 啓一 他16名

6. 各学校の状況

(1) 令和6年度 入学定員・収容定員及び学生・生徒・園児数

令和6年5月1日現在

学校名	学部・学科・課程名	入学定員	入学者数	収容定員	在籍者数
志 学 館 大 学	大 学 院	人	人	人	人
	(心理臨床学研究科)	13	15	26	30
	人間関係学部	200	199	810	827
	(心理臨床学科)	130	150	526	594
	(人間文化学科)	70	49	284	233
	法 学 部	145	121	590	536
	(法 律 学 科)			386	344
	(法ビジネス学科)			204	192
	大学 計	358	335	1,426	1,393
鹿児島女子 短期大学	児童教育学科	210	156	420	323
	生活科学科	80	45	160	102
	(生活福祉専攻)	20	6	40	17
	(食物栄養学専攻)	60	39	120	85
	教 養 学 科	80	60	160	137
	短大 計	370	261	740	562
志 学 館 高 等 部		160	84	480	249
志 学 館 中 等 部		120	85	360	239
かもめ幼稚園		—	—	260	171
なでしこ幼稚園		—	—	240	136
すみれ幼稚園		—	—	180	151
学園 合計		1,008	765	3,686	2,901

【附帯事業】

なでしこ保育園		—	—	40	45
---------	--	---	---	----	----

(2) 令和7年度 入学定員・入学者数

令和7年5月1日

学校名	学部・学科・課程名	入学定員	入学者数
志 學 館 大 学	大学院 (心理臨床学研究科)	人 13	人 16
	人間関係学部 (心理臨床学科)	200 130	279 197
	(人間文化学科)	70	82
	法 学 部	145	142
	大学 計	358	437
鹿児島女子短期大学	児童教育学科	180	137
	生活科学科	60	41
	(生活福祉専攻)	15	8
	(食物栄養学専攻)	45	33
	教 養 学 科	80	52
	短大 計	320	230
志 學 館 高 等 部		160	71
志 學 館 中 等 部		120	76

(3) 令和6年度 教職員数

学校名		理事長	教育職員	事務職員等	合 計
志 學 館 大 学			60	31	91
鹿児島女子短期大学			45	27	72
志 學 館	高等部		22	5	27
	中等部		25	6	31
	小 計		47	11	58
かもめ幼稚園			16	2	18
なでしこ幼稚園			14	2	16
すみれ幼稚園			12	2	14
学 園 本 部		1		15	16
合 計		1	194	90	285
なでしこ保育園				15	15
合計（含む保育園）		1	194	105	300

令和6年5月1日現在

* 上記は専任教職員数

Ⅳ 令和 6 年度 学校法人志學館学園 事業報告

令和 4 年度を初年度とする第 4 次経営計画「志學館未来計画 2022-2027」は、各設置校及び学園本部において「基本計画」⇒「取組戦略」⇒「具体的な取組み内容」と計画から戦略へと展開し、6 か年の行動の指針となる「施策」を策定したものです。令和 6 年度は学園全体で 443 の事業計画を推進いたしました。

1. 令和 6 年度短期事業計画の進捗状況

◆ 評価結果

評価区分	S	A	B	C	D	小計	N	合計
(達成率)	101% ～	100%～ 80%	79%～ 50%	49%～ 20%	19%～ 0%	-	見直 施策	-
志學館大学	15	94	17	10	2	138	3	141
鹿児島女子短期大学	2	58	18	3	2	83	2	85
志學館高等部・中等部	4	19	18	10	2	53	0	53
かもめ幼稚園	10	11	7	1	3	32	0	32
なでしこ幼稚園	0	25	6	0	0	31	0	31
すみれ幼稚園	7	17	8	1	1	34	0	34
なでしこ保育園	5	13	2	0	0	20	0	20
学園本部	1	24	16	1	5	47	0	47
計	44	261	92	26	15	438	5	443

◆ 達成度

評価区分	S	A 以上	B 以上	C 以上	D 以上
志學館大学	11%	79%	91%	99%	100%
鹿児島女子短期大学	2%	72%	94%	98%	100%
志學館高等部・中等部	8%	43%	77%	96%	100%
かもめ幼稚園	31%	66%	88%	91%	100%
なでしこ幼稚園	0%	81%	100%	100%	100%
すみれ幼稚園	21%	71%	94%	97%	100%
なでしこ保育園	25%	90%	100%	100%	100%
学園本部	2%	53%	87%	89%	100%
計	10%	70%	91%	97%	100%

※施策を計画化し実行している「B」以上は、学園全体で 91%となりました。

2. 令和6年度短期事業計画の具体的な取組内容

(1) 志學館大学

《Ⅰ. 教育・研究活動》

- ・導入教育充実に向け、「総合教養講座」等の講座を開講
- ・全学横断縦断・文理融合型のS5.0プログラムにて国の認定制度を取得
- ・2026年度認可に向け、保健体育課程認定の準備を推進
- ・シラバスの継続的改善を進める中で「ICT活用」欄を新規に導入
- ・国語科目（中国語）で交換留学経験者をSAとして採用

《Ⅱ. 学生支援・キャリア形成支援》

- ・「学問へのステップ」のクラスを活用した友人作り・懇親会企画への補助を検討
- ・学生支援ハンドブックの改訂に向けた教職員対象のアンケートを実施
- ・一般選抜「グローバル特待」と「IT特待」を新規に導入

《Ⅲ. 管理運営》

- ・新任者研修重点化の施策として教員メンター制度を導入
- ・アメニティ調査改革チームを組成し、検討・協議等を実施

《Ⅳ. 学生受入れ》

- ・企画戦略会議を組成し募集に関する戦略的ビジョンの検討を実施
- ・主要連携14高校との意見交換会（年2回）を実施
- ・総合型選抜・スポーツ総合型選抜にⅢ期を新規に導入

《Ⅴ. 社会連携》

- ・「おとなの教養講座2024」を実施し、本学の学術シーズを発信
- ・自治体・企業・団体等と連携した各種講義等や連携先とのレビュー会議を実施

(2) 鹿児島女子短期大学

《Ⅰ. 教育研究活動》

- ・協定先と連携した授業やアカデミックインターンシップを実施
- ・アセスメント結果を反映した令和7年度教育課程を協議・整備
- ・教養教育検討小委員会を中心にリベラルアールに基づいた開設科目を検討
- ・成績評価の平準化を検討する中で、学習成果に関する研修会を実施
- ・各学科の特色と学生のニーズに合わせたキャリアガイダンスを企画・実施

《Ⅱ. 学生支援》

- ・配慮が必要な学生を抽出し、支援に繋げるためのスクリーニング調査を実施
- ・進学対策を支援する担当スタッフを1名追加
- ・進路支援ガイダンスについて、各学科の実態に合わせて実施日や内容を企画

《Ⅲ. 管理運営》

- ・私立学校法改正に伴う寄附行為の改正等について、教授会での周知と必要な規程の改正を実施
- ・学生支援課が主体となり総務課と連携し防火防災の避難訓練を実施

《Ⅳ. 学生受入》

- ・高校訪問により収集した意見や改革総合支援事業の各項目の検討を入学金減免制度や入試変更反映
- ・高校や企業・団体など関わりのあるフォロワーとの Instagram 上でのコミュニケーションを図り、インタラクションを増加させる投稿を実施

《Ⅴ. 社会貢献》

- ・公開講座の開催方法を変更し、テーマごとに分けて「鹿児島女子短期大学公開講座」として全 13 回実施
- ・連携を結んでいる自治体・企業・教育機関と活発な連携活動を維持

(3) 志學館高等部・中等部

《Ⅰ. 進学校としての教育活動の推進》

- ・会議資料のペーパーレス化を実施
- ・中等部 2 年生から高等部 3 年生までの学年で、英語・数学の授業を習熟度別に分けて実施
- ・大学入試における「情報」への対応の検討会及び生徒に対する指導の実施
- ・いじめ防止の徹底のため定例の部会を毎月実施し情報を共有
- ・コロナ禍で中止されていた同窓会を鹿児島・中部・関東・関西で開催

《Ⅱ. 教育環境の充実》

- ・LTE（モバイル通信）搭載の iPad を教員、中等部 1 年生に導入
- ・春休み期間に教室改修工事を実施

《Ⅲ. 機能的な学校運営》

- ・タブレットを導入し、日々の連絡事項の周知及び職員会議や運営会議資料を共有
- ・コンプライアンスマニュアルに準じた研修等を実施

《Ⅳ. 生徒募集対策》

- ・塾対象の説明会（年 2 回）を開催
- ・3 月に市内の小学校へチラシを配布
- ・3 月に市内の中学校へ訪問を実施

《Ⅴ. 学園内外との連携》

- ・卒業生による講演会の実施
- ・同窓会長・後援会長との意見交換の実施

(4) 鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園

《Ⅰ. 幼稚園教育》

- ・就学先の小学校訪問により、卒園児の状況を把握
- ・文庫室がより機能するように整備を実施

《Ⅱ. 制度・設備》

- ・7時30分前からの預かり対応の実施
- ・実情に合わせて後援会規約を改訂

《Ⅲ. 管理運営》

- ・各種マニュアルの共有システムでの一元管理と備付台帳のファイル管理の促進

《Ⅳ. 園児募集》

- ・Instagramを毎日更新し日々の様子を発信
- ・入園案内チラシ3,000枚のポスティングを実施

《Ⅴ. 学園内外との連携》

- ・園庭開放時やわんぱくキッズ時に文庫室を開放
- ・職員のニーズを踏まえた研修内容の設定

(5) 鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園

《Ⅰ. 幼稚園教育》

- ・療育施設との情報交換や施設見学を実施
- ・県幼稚園教諭研究大会、4ブロック教職員研修会を通じた各幼稚園との情報交換・共同研究を実施

《Ⅱ. 制度・設備》

- ・後援会と協力し、50周年記念行事の企画を実施
- ・無線LANを活用し、リズム室や保育室での出席管理やオンライン研修を実施

《Ⅲ. 管理運営》

- ・年度途中からの入級希望者の積極的な受入
- ・県内外の研修への全員参加

《Ⅳ. 園児募集》

- ・未就園児クラブを13回開催、実際に幼稚園の教育課程で実践している内容で実施
- ・Instagramの定期更新

《Ⅴ. 学園内外との連携》

- ・園庭開放を4月から年間20回実施
- ・短大のオンライン授業において、本園の新規採用者が園児たちの様子の説明を実施

(6) 鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園

《Ⅰ. 幼稚園教育》

- ・各種行事の反省アンケートの実施・集約及び職員会議での共通理解の促進
- ・療育施設職員の定期的な来園による情報交換の実施

《Ⅱ. 制度・設備》

- ・管理棟 2 階共用トイレの改修
- ・安全点検による固定施設（遊具）等の改修・修繕を実施

《Ⅲ. 管理運営》

- ・夏季休業期間及び課業日の講師招聘による職員研修の実施
- ・夏季休業期間を活用した県外研修への積極的な参加

《Ⅳ. 園児募集》

- ・企業主導型保育園に対する見学・説明会案内の配布
- ・HP や Instagram を活用した定期的な情報発信

《Ⅴ. 学園内外との連携》

- ・園庭開放（25 回）と文庫開放（23 回）を実施
- ・運動会への短大生の参加（3 名）

(7) なでしこ保育園

《Ⅰ. 保育》

- ・月案・週案の保育全体計画に基づく意図的・計画的な保育を実践
- ・夏野菜や稲の栽培等の計画的な食育活動の実践

《Ⅱ. 制度・設備》

- ・ICT システムの積極的な活用

《Ⅲ. 管理運営》

- ・パソコンの導入と保育管理システムの活用により業務のシステム化が具体化
- ・WEB によるキャリアアップ等、個人研修の充実化

《Ⅳ. 園児募集》

- ・HP やパンフレット・鹿児島保育士フェア 2024 等での広報活動の実施

《Ⅴ. 学園内外との連携》

- ・園見学を開催し 15 名が参加
- ・幼保小が連携する研修活動を計画し実践

(8) 学園本部

《Ⅰ.「経営力」の向上》

- ・ 寄附行為変更認可申請を実施（文部科学省からの認可を受ける）
- ・ コンプライアンス規定改正の実施
- ・ リスク関連規定の規定改正の実施
- ・ 大学・短大それぞれにおいて、取得した免許や資格等に応じた「入学金減免」制度の新設
- ・ 学園 HP に寄附金受付フォームを設置

《Ⅱ.「組織力」の強化》

- ・ 在宅勤務に必要な機器と利用するネットワーク環境の整備についての具体的案を検討
- ・ 私学共済事業の傷病手当金負担割合を見直し、規定改定を実施
- ・ 保育士のキャリア形成のための取組としてキャリアパスに基づく役割職を発令
- ・ 短大での全体説明会ならびに個別相談会を複数回実施

《Ⅲ.「革新力」の創出》

- ・ 各学校の寮の学内ネットワーク（VPN）化を実施
- ・ 大学において歩行者・車いす利用者を配慮した環境整備としてアスファルト整備を実施
- ・ 中高において授業見学等の外部の方の来校を意識した普通教室の改修工事を実施
- ・ 大学の新学部設置に向けて「大学・高専機能強化支援事業」への申請実施
- ・ 短大の経営改善に関する検討部会と基本問題会議を設置し検討を実施

(9) 6 か年施設設備投資計画事業執行状況

1. 志學館大学キャンパス整備事業

- 舗道整備工事 正門から教職員用駐車場までの舗道整備（令和 6 年度実施）

2. 志學館中高等部キャンパス整備事業

- 本館教室内改修工事 破損した壁と床等の改修（令和 6 年度更新）
- 本館教室内改修工事 ICT 機器導入による教材等の更新（令和 6 年度実施）

3. 学園内車両・バス更新事業

- かもめ幼稚園バス更新（令和 6 年度更新）

3. 令和6年度設置校別事業計画達成度評価

組織名称	志 学 館 大 学
------	-----------

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価						
				S	A	B	C	D	N	計
I 教育・研究活動	1 教育課程の組織的・体系的な編成と改善	① DPを軸にした教育課程の組織的・体系的編成と継続的改善	3		3					3
		② 高大接続による入学前学習指導・教育の整備	2		2					2
		③ 導入教育の改善	3	1		2				3
		④ 教養教育（共通教育科目）の検証と充実	3	2	1					3
		⑤ 国家資格教育の検証と改善	4		3				1	4
		⑥ 法学部2学科体制の整備	2		2					2
		⑦ 教職課程の法令に対応した整備と外部評価対応	2	1	1					2
	2 教授方法の工夫・開発と効果的な授業実施	① 教育諸制度の点検と継続的改善	4		4					4
		② 授業評価の実質化と活用	1		1					1
	3 単位・卒業等認定基準の明確化と実質化	① 単位認定制度の実質化	3		3					3
		② 卒業等認定制度の検証と実質化	1		1					1
	4 学修成果のモニタリングとフィードバック	① 学修成果の可視化とASPの検討と改善	1		1					1
		② ディプロマサプレメントの改善	3		3					3
	5 大学院教育の整備・強化	① 大学院教育の整備	3		1	1	1			3
	6 研究活動の推進	① 公正な研究の推進	2		2					2
		② 研究環境・支援の充実	3		3					3
	7 グローバル化の推進	① 大学のグローバル化の検証と改善	6		5				1	6
II 学生支援・キャリア形成支援	1 適応支援の継続的改善	① 障がいのある学生への支援制度の検証と改善	4		3		1			4
		② 学生支援センター・室の機能の検証と改善	5		2	3				5
	2 学修支援・成長力支援	① 学習力不足の学生、学修意欲が低下している学生（学修困難者）への支援体制の構築	2		2					2
	3 進路支援	① 進路支援体制の検証と改善（支援効率の向上）	7		6			1		7
		② 教育課程内外でのキャリア教育の検証と改善	3		3					3
	4 資格教育	① 資格取得支援体制と内容の検証・改善	4		2	2				4
	5 学生の意見・要望への対応と学生サービス	① 多チャンネル方式による学生の意見・要望の汲み上げと反映	1		1					1
		② 学生支援関連の諸制度（特待生、奨学生等）の点検と整備	4	3	1					4
	1 大学の個性・特色・強みの伸長	① 使命・目的及び教育目的～三つのポリシーの整合性の検証と改善	4		4					4
		② 大学内部・外部の状況に関するIR活動の充実	2		1	1				2

組織名称	志 学 館 大 学
------	-----------

基本計画		取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価						
					S	A	B	C	D	N	計
Ⅲ 管理運営		2 内部質保証の深化	① 内部質保証のポリシー実現の自律化	2		2					2
		3 教学マネジメントの機能性の向上	① 学教法以下に適合する学内制度の継続的整備	1		1					1
			② 大学管理運営の確実化に向けた体制整備	4	2	1		1			4
			③ 事務局組織の機能性の検証と効率化	1			1				1
		4 教員配置等の最適化	① 教員配置等の検証と再構築	2		2					2
		5 戦略的FD・SD活動の確立	① 教職員の能力開発に必要な研究・研修の推進	4		3	1				4
		6 健全な財務基盤と会計	① 科研費等競争的資金獲得の推進	1		1					1
			② 校費等執行の厳正な管理	2		2					2
		7 ハラスメント防止の推進	① ハラスメント防止	1		1					1
		8 教育研究環境の整備	① 校地、校舎等の教育研究環境の整備と適切な運営・管理	1		1					1
			② 施設の有効利用と利便性の向上	5		5					5
			③ 情報環境の整備	2		1	1				2
Ⅳ 学生受入れ		1 学生募集の強化	① 募集・広報活動の質的強化	13	3	5	1	3		1	13
			② 高大連携活動の推進	2	1	1					2
		2 入学者選抜制度の整備による確実な入学定員管理	① 国の大学入試制度改革に対応した選抜方法の継続的改善	4	1	3					4
			② 入学者選抜手法の定着による定員管理の確実化	1			1				1
			③ 大学院学生定員の確保と管理	2			1		1		2
Ⅴ 社会連携		1 社会連携の推進	① 社会連携センターの活動の検証と改善	4	1	1		2			4
			② 地域と共に成長する教育の実質化	2		2					2
			③ 生涯学習事業に関する検証と改善	3			1	2			3
			④ 地域社会のニーズを汲み取った大学運営	2		1	1				2
合計				141	15	94	17	10	2	3	141

組織名称	鹿児島女子短期大学
------	-----------

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価						
				S	A	B	C	D	N	計
I 教育研究活動	1 「学びの質」の向上	① アセスメント・ポリシーならびにカリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを踏まえた学習成果の定期的な見直し	2		2					2
		② 学習支援・履修指導の充実	5		4	1				5
		③ 留学生および社会人教育の在り方の検討	3		3					3
		④ 学外組織との連携強化	1		1					1
	2 教育課程の検証	① 教育課程（特に専門教育）及びカリキュラム・ポリシーの検証 定期的な見直し	1		1					1
		② 教養教育の検証	1		1					1
		③ グローバル化への対応	2		2					2
	3 学びの可視化に基づく教育方法の検証	① 学びの可視化の検証	2		2					2
		② 適切な学習量の検証	1			1				1
		③ アセスメント・ポリシーの着実な遂行	2		1		1			2
	4 ICT化の推進	① ICT環境の充実	2		1	1				2
		② 学生・教職員のICTスキル向上	1		1					1
	5 キャリア教育・支援の充実	① キャリア系科目の充実	1		1					1
	6 研究活動の充実	① 外部研究資金獲得の促進	1			1				1
II 学生支援	1 多様な学生に対する支援の充実	① 多様な学生に対する支援の充実	4		4					4
	2 特待生・奨学生制度の充実	① 特待生・奨学生制度の充実	2		2					2
	3 学習環境の充実	① ICT環境の充実	2		2					2
	4 進路支援の充実	① 事業所の情報把握と組織的関係の構築	2		2					2
		② 公務員、教員採用試験、進学対策の支援	1		1					1
		③ 資格取得支援の充実	1		1					1
		④ 進路支援方法の検証	1		1					1
	5 進路支援体制の充実	① 効果的な進路支援体制の構築	4		4					4
	6 安全かつエコロジカルな機能性の高い施設・設備の整備	① 学生満足度を高めるアメニティの整備	2		2					2
		② バリアフリー化の推進	1			1				1
		③ 学生寮の充実	1						1	1
III 管理運営	1 政策・制度変更等への的確な対応	① 政策・制度変更等への的確な対応	2		2					2
	2 業務改善・効率化の推進による業務生産性の向上	① 業務改善・効率化の推進による業務生産性の向上	1			1				1
		② 入試出願から入学までのデータ管理プロセス一元化	1						1	1

組織名称	鹿児島女子短期大学
------	-----------

基本計画		取組戦略		戦略の具体的な取組内容		件数	評価						
							S	A	B	C	D	N	計
Ⅲ	管理運営	3	組織体制の検証	①	組織体制の検証	3		1	2				3
		4	FD・SDの推進	①	FD・SDの推進と学内研修体制の充実	3		2	1				3
		5	ガバナンスの充実	①	教職協働体制の推進	1		1					1
				②	コンプライアンスの徹底	1			1				1
		6	危機管理体制の充実と高度化	①	危機管理体制の充実と高度化	4		3	1				4
		7	学内ブランディングの構築	①	めざす「KAJOTANの姿」の設定	2			1	1			2
		8	施設・設備の計画的な営繕・リプレイスの推進	①	施設・設備の計画的な営繕・リプレイスの推進	3			3				3
		9	私学助成補助金等の獲得推進と教育施設の充実	①	私学助成補助金等の獲得推進と教育施設の充実	1		1					1
		10	調査資料に基づく教育内容・方法の改善	①	調査資料に基づく教育内容・方法の改善	1				1			1
Ⅳ	学生受入	1	高大接続の充実	①	アセスメント・ポリシーを踏まえたアドミッション・ポリシーの定期的な見直し	2		1			1		2
		2	入学定員の充足	①	入学試験の検証	2	1	1					2
				②	募集活動の充実	2		2					2
				③	同窓生との連携	1					1		1
				④	広報活動の充実	2		2					2
Ⅴ	社会貢献	1	地域貢献	①	公開講座の充実	1		1					1
		2	地域創生・連携	①	自治体・企業・団体等との連携	2	1	1					2
				②	他大学等との連携	1		1					1
				③	社会情勢に対応した連携方法の開発	1			1				1
				④									
		3	卒業生との連携	①	卒業生との連携	1			1				1
②	リカレント教育の実施			1			1				1		
合計						85	2	58	18	3	2	2	85

組織名称	志 学 館 高 等 部 ・ 中 等 部
------	---------------------

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価						
				S	A	B	C	D	N	計
I 進学校としての教育活動の推進	1 教育理念に基づいた教育方針の再確認	① 教育方針の再確認, 明確化	1	1						1
		② 教職員間における教育理念, 教育方針の共通理解	1	1						1
	2 学力開発・人間性開発の推進	① 教育課程の充実	3			3				3
		② 学力開発の充実	6		1	4	1			6
		③ 人間性開発の充実	4		3	1				4
		④ いじめ防止の徹底	2		2					2
		⑤ ICTを活用した教育の充実	4		2	2				4
	3 グローバル化への対応	① 留学生受入体制の整備	1				1			1
		② 短期留学プログラムの研究	1					1		1
	4 キャリア教育の充実	① ライフスキル教育の導入	1				1			1
		② インターンシップの研究	1					1		1
		③ 後援会・卒業生の活用	1		1					1
II 教育環境の充実	1 ICT機器の導入および研究	① 情報共有システムの整備	1		1					1
	2 学校諸施設および機器の整備	① 学校施設の整備	1		1					1
	3 寮環境の充実	① 寮環境の整備	2			1	1			2
III 機能的な学校運営	1 組織力の向上	① 校務分掌の再構築	2		1	1				2
		② 教職員のスキル向上	1			1				1
		③ 教職員配置の検討	1				1			1
	2 情報共有による業務の効率化	① 情報共有の強化	2		2					2
	3 各種制度の検証と構築	① 奨学金制度の検証と構築	1		1					1
		② 特待生制度の検証と構築	1		1					1
	4 各種評価制度の充実	① 学校評価制度の充実	2				2			2
		② 授業評価制度の充実	1				1			1
	5 学校運営に関する意識の向上	① コンプライアンスの確認と徹底	1		1					1
		② 危機管理の徹底	1			1				1

組織名称	志 学 館 高 等 部 ・ 中 等 部
------	---------------------

基本計画		取組戦略		戦略の具体的な取組内容		件数	評価						
							S	A	B	C	D	N	計
Ⅳ	生徒募集対策	1	入学定員の充足	① 募集活動の強化	2	1		1				2	
				② 広報力の強化	2		1	1				2	
				③ 広報部門の見直し	1	1						1	
Ⅴ	学園内外との連携	1	同窓会・後援会との連携	① 同窓会・後援会との連携強化	2		1	1				2	
		2	設置校との連携	① 設置校との連携	3			1	2			3	
合計						53	4	19	18	10	2	0	53

組織名称	鹿児島女子短期大学附属 かもめ幼稚園
------	-----------------------

基本計画		取組戦略		戦略の具体的な取組内容		件数	評価						
							S	A	B	C	D	N	計
Ⅰ	幼稚園教育	1	幼稚園教育の充実	① 日々の教育の充実	3		2	1				3	
				② 特別な支援を必要とする園児への支援の充実	2		1			1		2	
				③ 就学を意図した教育の充実	2		1	1				2	
				④ 特色ある教育の充実	1	1						1	
Ⅱ	制度・設備	1	制度等の充実・改善	① 預かり保育・一時預かりの充実	1	1						1	
				② 後援会・クラス役員の活動内容の精査	1	1						1	
		2	施設設備の充実	① 教育環境の充実	1	1						1	
				② 管理運営環境の充実	1	1						1	
				③ ICT環境の充実	1					1		1	
				④ バス運行内容の精査	1	1						1	
Ⅲ	管理運営	1	労務環境の充実	① 人材の安定確保	1		1					1	
				② 業務内容の精査	2		2					2	
				③ 研修制度の充実	2			2				2	
Ⅳ	園児募集	1	広報の充実	① 園児募集活動の強化	3	1	1	1				3	
				② 「幼稚園教育の良さ」の広報	1				1			1	
				③ 新たな広報戦略の検討	3	2	1					3	
Ⅴ	学園内外との連携	1	社会連携	① 子育て支援の充実	1	1						1	
				② 地域社会との連携	1			1				1	
				③ 卒園児との連携	1		1					1	
		2	設置校・姉妹園との連携	① 三園合同の取組事項の精査	1		1					1	
				② 設置校との連携強化	2			1		1		2	
合計						32	10	11	7	1	3	0	32

組織名称	鹿児島女子短期大学附属 なでしこ幼稚園
------	------------------------

基本計画		取組戦略		戦略の具体的な取組内容		件数	評価						
							S	A	B	C	D	N	計
Ⅰ	幼稚園教育	1	幼稚園教育の充実	① 日々の教育の充実	3		1	2				3	
				② 特別な支援を必要とする園児への支援の充実	1		1				1		
				③ 就学を意欲した教育の充実	2		2				2		
				④ 特色ある教育の充実	2		1	1			2		
Ⅱ	制度・設備	1	制度等の充実・改善	① 預かり保育・一時預かりの充実	1			1				1	
				② 後援会・クラス役員の活動内容の精査	1		1				1		
		2	施設設備の充実	① 教育環境の充実	1		1				1		
				② 管理運営環境の充実	1		1				1		
				③ ICT環境の充実	1		1				1		
				④ バス運行内容の精査	1		1				1		
Ⅲ	管理運営	1	労務環境の充実	① 人材の安定確保	1		1				1		
				② 業務内容の精査	2			2			2		
				③ 研修制度の充実	2		2				2		
Ⅳ	園児募集	1	広報の充実	① 園児募集活動の強化	2		2				2		
				② 「幼稚園教育の良さ」の広報	2		2				2		
				③ 新たな広報戦略の検討	3		3				3		
Ⅴ	学園内外との連携	1	社会連携	① 子育て支援の充実	1		1				1		
				② 地域社会との連携	1		1				1		
				③ 卒園児との連携	1		1				1		
		2	設置校・姉妹園との連携	① 三園合同の取組事項の精査	1		1				1		
				② 設置校との連携強化	1		1				1		
合計						31	0	25	6	0	0	0	31

組織名称	鹿児島女子短期大学附属 すみれ幼稚園
------	-----------------------

基本計画			取組戦略		戦略の具体的な取組内容		件数	評価						
								S	A	B	C	D	N	計
Ⅰ	幼稚園教育	1	幼稚園教育の充実	① 日々の教育の充実	3	1	1	1				3		
				② 特別な支援を必要とする園児への支援の充実	2	1	1				2			
				③ 就学を意欲した教育の充実	2		2				2			
				④ 特色ある教育の充実	2		1	1			2			
Ⅱ	制度・設備	1	制度等の充実・改善	① 預かり保育・一時預かりの充実	1					1	1			
				② 後援会・クラス役員の活動内容の精査	2		1	1			2			
		2	施設設備の充実	① 教育環境の充実	1		1				1			
				② 管理運営環境の充実	1		1				1			
				③ ICT環境の充実	1				1		1			
				④ バス運行内容の精査	1		1				1			
Ⅲ	管理運営	1	労務環境の充実	① 人材の安定確保	1			1			1			
				② 業務内容の精査	2		1	1			2			
				③ 研修制度の充実	2	2					2			
Ⅳ	園児募集	1	広報の充実	① 園児募集活動の強化	2	1	1				2			
				② 「幼稚園教育の良さ」の広報	2	1		1			2			
				③ 新たな広報戦略の検討	2		1	1			2			
Ⅴ	学園内外との連携	1	社会連携	① 子育て支援の充実	1	1					1			
				② 地域社会との連携	2		2				2			
				③ 卒園児との連携	2		1	1			2			
		2	設置校・姉妹園との連携	① 三園合同の取組事項の精査	1		1				1			
				② 設置校との連携強化	1		1				1			
合計						34	7	17	8	1	1	0	34	

組織名称	なでしこ保育園
------	---------

基本計画		取組戦略		戦略の具体的な取組内容		件数	評価						
							S	A	B	C	D	N	計
Ⅰ	保育	1	保育の充実	① 日々の保育の充実	1		1					1	
				② 特別に支援を必要とする園児への支援の充実	2		2				2		
				③ 就学を意図した教育の充実	1		1				1		
				④ 特色ある保育の充実	2	2					2		
Ⅱ	制度・設備	1	制度等の充実・改善	① 預かり保育・一時預かりの充実	1		1				1		
				2	施設設備の充実	① 保育環境の充実	1		1				1
		② 管理運営環境の充実	1			1					1		
		③ ICT環境の充実	1			1					1		
Ⅲ	管理運営	1	労務環境の充実	① 人材の安定確保	1		1				1		
				② 業務内容の精査	2		1	1			2		
				③ 研修制度の充実	2		2				2		
Ⅳ	園児募集	1	広報の充実	① 園児募集活動の強化	1		1				1		
Ⅴ	学園内外との連携	1	社会連携	① 子育て支援の充実	1		1				1		
				② 地域社会との連携	1			1			1		
				③ 卒園児との連携	1		1				1		
		2	設置校・姉妹園との連携	① 設置校との連携強化	1	1					1		
合計						20	5	13	2	0	0	0	20

組織名称	学 園 本 部
------	---------

基本計画	取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価						
				S	A	B	C	D	N	計
I 「経営力」の向上	1 健全経営を行うための管理運営体制の強化	① 健全な法人運営プロセスの強化	1		1					1
		② 相互チェック機能体制の強化	1		1					1
		③ 私立学校ガバナンス改革への対応	1		1					1
	2 コンプライアンスの徹底とリスク管理・危機管理体制の強化	① コンプライアンスの周知と徹底	1		1					1
		② リスク管理・危機管理体制の強化	2		2					2
	3 定量的目標に基づく財政基盤の維持・向上	① 事業活動収支計画の策定と実行	2		2					2
		② 適確な予算編成と厳格な予算執行	1		1					1
		③ 教育活動収入価格設定の検証と時宜改訂	1		1					1
		④ 外部資金増加策の推進	1		1					1
II 「組織力」の強化	1 働き方改革への取組み	① 働き方に相応する労働時間制度の導入	2		1	1				2
		② リモートワーク環境の整備	2		2					2
		③ 各種休暇取得の推進	2			2				2
		④ 健康相談体制の充実	2		1	1				2
	2 働きがいのある人事制度・人材育成への取組み	① 事務職員の人事制度の設計と運用	3					3		3
		② 雇用制度・形態の整備	2			1		1		2
		③ 事務職員の研修制度の充実	1			1				1
		④ 幼稚園・保育園教育職員の処遇改善の設計と運用	2		1	1				2
	3 事務組織体制の強化	① 経営戦略に即した事務組織の編成	2		1	1				2
	4 連携力の構築	① 本部・設置校間の連携強化	2			1		1		2

組織名称	学 園 本 部
------	---------

基本計画		取組戦略	戦略の具体的な取組内容	件数	評価						
					S	A	B	C	D	N	計
Ⅲ 「革新力」の創出	1	ICT環境整備による業務改革	① ICT環境の構築による事務処理の合理化	4		1	2	1			4
			② DXの推進	2		1	1				2
	2	本部コンサルティング機能の充実	① 適正人員の配置	1			1				1
			② 募集戦略の活性化	1			1				1
			③ 広報体制の強化	2		2					2
			④ 教育施設設備の充実	2		2					2
			⑤ 多文化共生社会への対応	1		1					1
			⑥ 学園の将来構想の検討	1	1						1
	3	新規事業による収益事業の創出	① 新たな事業の創出	2			2				2
合計				47	1	24	16	1	5	0	47

4. 令和6年度設置校別KPI達成度評価

設置校名	基本計画	2024年度		
		KPI	実績	詳細
志 学 館 大 学	I 教育・研究活動	①科研費等の競争的資金に対する申請割合（研究代表者、分担研究者を含む） 50%	①人間関係学部：43.6% 法学部：23.8%	①2024申請者数（継続含）+2024教員数×100 人間関係学部：17人+39人×100 法学部：5人+21人×100
	II 学生支援・キャリア形成支援	①中退除籍率 3%以下 ②就職率 99%	①3.7% ②98.1%	①2024年度退学・除籍者数（2024年5月教授会～2025年4月教授会承認分まで）50人／在籍者数（2024年5月1日現在）1363人×100 ②就職者数259人+就職希望者数264人×100
	III 管理運営	①S/T比 28以内 ②コンプライアンス啓発活動数 4回以上	①22.8 ②4回	①2024在籍者数（2024年4月3日現在）1368人+教員数（2024年4月1日現在）60人 ②2024年度内実施実数（教授会7, 8, 10, 1月教授会）
	IV 学生受入れ	①高大連携高校数 20校 ②入学定員充足率（学士課程） 1.14 （大学院課程） 1.00 ③収容定員充足率（学士課程） 1.00以上 （大学院課程） 1.00以上	①主要連携校14校 ②（学士課程） 0.93 （大学院課程） 1.15 ③（学士課程） 0.97 （大学院課程） 1.15	①2024年度末時点での実数 ②（学士課程） 入学者数320人／入学定員345人 （大学院課程） 入学者数15人／入学定員13人 ③（学士課程） 在籍者数（2024年5月1日現在）1,363人／収容定員1400人 （大学院課程） 在籍者数（2024年5月1日現在）30人／収容定員26人
	V 社会連携	①包括連携協定数 現状9件+純増1件 ②社会連携活動件数 40件	①現状9件+純増2件 ②130件	①2024年度実績（日置市、僅之島高校） ②2024年度実績
鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	I 教育研究活動	①学生満足度（授業） 80%	①93.5%	①「学生による授業評価」質問項目(19)「この授業を総合的に1～5の5段階で評価してください。」の割合 4（どちらかというと良い） 5（良い） 計 前期： 34.1% 58.8% 92.9% 後期： 36.5% 57.6% 94.1% (92.9+94.1) ÷ 2 = 93.5%
	II 学生支援	①学生満足度（キャンパスライフ等） 80% ②就職率 97% ③県内就職率 80%	①95.6% ②98.4% ③81.8%	①（満足227人+やや満足211人）+回答全体458人 ②就職者数254人+就職希望者数258人 ③県内就職者数208人+就職者数254人
	III 管理運営	①外部資金申請数 5件以上 ②地元自治体、企業等との共同研究及び受託研究 3件以上	①9件 ②3件	①科研費申請8件、外部資金申請1件 ②受託1件、共同研究2件
	IV 学生受入	①入学定員充足率 100% ②県内の高校生の入学率 90%以上	①71.9% ②92.6%	①入学者230人+募集定員320人 = 71.9% ②県内の高校生201人+入学者のうち高校生217人 = 92.6%
	V 社会貢献	①年間公開講座開講数 10件 ②地元のボランティア輪流件数 15件 ③自治体との連携活動 30件 ④企業・その他団体との連携活動 5件 ⑤地元自治体、企業・その他団体との共同研究及び受託研究（再掲） 3件以上 ⑥県内就職率（再掲） 80%以上 ⑦県内の高校生の入学率（再掲） 90%以上	①13件 ②21件 ③80件 ④57件 ⑤3件 ⑥81.8% ⑦92.6%	①鹿児島女子短期大学公開講座12件、ビジネス公開講座1件 ②ボランティア参加実績件数 ③包括連携先（5市56件）+その他自治体等（24件） ④包括連携先（1着3件）+その他54件 ⑤受託1件、共同研究2件 ⑥県内就職者数209人+就職者数255人 ⑦県内の高校生201人+入学者のうち高校生217人 = 92.6%
部 志 学 館 中 学 等 高 等 学 校	IV 生徒募集対策	①入学者数 10%増	①20%減	①2025年度入学76名+2024年度入学者94名×100=80.9% →昨年度入学者数の約80%
幼 小 学 校	IV 園児募集	①未就園児クラブの会員数 充足率100% ②未就園児クラブ在籍児の入園手続率 手続率60% ③HP・インスタグラムへの出稿数 月8件	①122% ②62% ③260%	①登録者数61名+定員50名 ②未就園児クラブからの入園者数38名+登録者数61名 ③出稿数250件→月平均21件 21÷8=2.6
幼 稚 園	IV 園児募集	①未就園児クラブへの登録組数 65組 ②未就園児クラブ在籍児の入園手続率 80% ③HPへの出稿数 月平均5件更新(内容重視へ)	①89.2% ②65.5% ③月5回（平均）	①登録者数68組+目標65組 ②未就園児クラブからの入園者数38人+入会者数58組 ③60件（年間）+12か月
幼 児 育 児 園	IV 園児募集	①未就園児クラブの会員数 充足率100% ②未就園児クラブ在籍児の入園手続率 手続率80% ③HPへの出稿数 月12件	①88% ②82% ③月12.8件（平均）	①44組登録+50組想定 ②36人+44人 ③153件（年間）+12か月
な で し こ 保 育 園	I 保育	①保護者へのICT連絡帳への写真添付 週1回以上	①週1.9回（平均）	①11.46（各年次の週平均の合計）+6（年次数<0歳～5歳>）=1.91
	IV 園児募集	①HPへの出稿数 月10件	①月11.4件（平均）	①137件（年間）+12か月=11.41件
学 園 本 部	I 「経営力」の向上	①経常収支差額比率 4.0%以上 ②教育研究経費比率 29.5%以上 ③管理経費比率 6.5%以下 ④人件費比率 60.0%以下	①0.1% ②30.7% ③7.4% ④61.6%	①経常収支差額3,984,833円／経常収入3,506,279,095円 ②教育研究経費1,078,010,096円／経常収入3,506,279,095円 ③管理経費259,352,800円／経常収入3,506,279,095円 ④人件費2,160,818,268円／経常収入3,506,279,095円

V 財務の概要

1. 令和6年度 決算の概要

事業活動収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表、定量的経営判断指標について、当期の財務概況を前年度決算額と対比し、主な増減について説明する。

【事業活動収支計算書】

令和6年度は、経常収支差額は3,984千円（前年比△165,031千円）、経常収支差額比率は0.1%（前年比△3.2P）となった。

収入及び支出の科目詳細については、下記のとおりである。

（教育活動収支）

〔収入〕 学生生徒等納付金は、学生生徒園児数は前年比△200名（大学、短大、中高等部・合計△168名、かもめ・なでしこ・すみれ幼稚園合計△32名）で△156,795千円と、大幅な減少となった。経常費補助金は、主に短大の定員充足率低下に伴う減少により△39,811千円となった。付随事業収入は保育所収入の増加等により+6,871千円、雑収入は退職金財団交付金の増加等により+105,182千円となった。

この結果、教育活動収入の合計は△85,583千円で3,426,190千円となった。

〔支出〕 人件費は、退職給与引当金繰入額の増加等により+95,617千円、教育研究経費は、光熱水費や委託手数料の増加等により+23,081千円、管理経費は国庫補助金返還支出等により+22,326千円となった。

この結果、教育活動支出の合計は+138,907千円で3,499,564千円となった。

これらの結果、教育活動収支差額は△224,489千円で△73,373千円となった。

（教育活動外収支）

教育活動外収支差額は、資産運用の受取利息配当金の増により、+59,458千円で77,358千円となった。

（経常収支差額）

経常収支差額は、△165,031千円で3,984千円となった。

（特別収支）

特別収支差額は、有価証券売却差額の減少等により、△7,150千円で19,076千円となった。

（基本金組入前当年度収支差額）

事業活動収入は△33,367千円で3,528,129千円、事業活動支出は+138,814千円で3,505,068千円、基本金組入前当年度収支差額は△172,181千円で23,061千円となった。

財務比率に関しては、経常収支差額比率 0.1% (−4.7P)、事業活動収支差額比率 0.7% (−4.8P)、人件費比率 61.6% (+3.1P)、教育研究経費比率 30.7% (+0.8P)、管理経費比率 7.4% (+0.7P) で、定量的経営判断指標はA 3 となった。

【資金収支計算書】 ※ 事業活動収支と同じ科目は説明を割愛

(収入の部) 資産売却収入は、投資信託 ETF の反復売買により、+54,748 千円の 506,643 千円となった。前受金収入は大学の入学者増等により+51,868 千円の 348,578 千円、その他収入は前期末未収入金の減少により△50,076 千円の 70,645 千円、これらにより収入の部合計は+125,119 千円で 7,034,296 千円となった。

(支出の部) 人件費支出は退職金及び教員人件費の増加等により+96,630 千円の 2,165,899 千円、施設・設備関係支出は施設設備投資額の減少により△16,093 千円の 86,886 千円、資産運用支出は投資信託の積極的な運用により+397,219 千円の 996,292 千円、その他の支出は前期末未払金支出の減少等により△39,872 千円の 184,771 千円、これらにより支出の合計は+435,237 千円で 4,223,670 千円となった。

この結果、翌年度繰越支払資金は△310,118 千円で 2,810,626 千円となった。

(運用中の有価証券 700,000 千円を含めると、+389,882 千円の 3,510,626 千円)

【貸借対照表】

固定資産は、建物の償却等により△296,167 千円の 13,793,744 千円、流動資産は有価証券の増加等により+343,650 千円の 3,794,544 千円となった。

この結果、資産の部合計は+47,483 千円で 17,588,288 千円となった。

負債の部合計は、前受金や未払金の増加等により+24,421 千円で 1,711,938 千円となった。

基本金は、+57,324 千円で 19,205,037 千円となった。

学園の財産状況については、純資産が+23,061 千円で 15,876,350 千円となった。

貸借対照表の財務比率に関しては、純資産構成比率 90.3% (△0.1P)、流動比率 565.0% (△39.7P)、前受金保有率 1,072.5% (△123.5P)、積立率 53.2% (+0.7P) となった。

【経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策】 ※（ ）は前年比

第4次経営計画（志學館学園未来計画 2022－2027）の3年目に当たる令和6年度決算は、学園全体の学生生徒園児数 200 名減、経常収支差額 165 百万円減により、3 百万円の経常収支差額〔比率 0.1%〕となり、定量的経営判断指標ではA 3を維持した。

設置校の財務状況について、大学は前年比 72 名減少したが、定員充足率は 98%で経常収支差額は 222 百万円と、学園の財務の中核を担っている。

短大は前年比 85 名減少し、収容定員充足率は 76%（△11%）で経常収支差額は△177 百万円（△60 百万円）となり、最大の赤字部門となっている。

中・高等部は前年比 11 名減少で経常収支差額は△39 百万円（△18 百万円）、幼稚園全体は前年比 32 名減少で経常収支差額は 8 百万円（△16 百万円）であった。

本業である教育活動収支差額は 73 百万円の赤字（△224 百万円）で、資産運用の投資信託配当金 77 百万円でカバーし、3 百万円の黒字決算という実態である。

教育活動のキャッシュフローも 16.1%から 7.7%へ低下しており、学生生徒園児に質の高い教育を提供する為にも、教育活動収支差額を黒字転換することが喫緊の課題である。

定員確保を目標に、設置校間で偏りが無い様に、バランスの良い健全な財務体質を構築する為に、募集広報活動に注力し、採択制の補助金、寄付金、事業収入など、あらゆる収入増加方策を図り、経費の見直しに伴う支出の削減と効率化は今後も継続的に推進する。

学生・生徒・園児の確保を第一に、将来の施設設備拡充の為に資金の積立強化を図り、強固な財務基盤を構築し、安定した財務運営を目指す方針である。

1. ① 事業活動収支計算書及び財務比率（経年比較）

単位：千円

		勘定科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収支	教育活動収入	学生生徒等納付金	2,420,988	2,487,316	2,496,058	2,491,164	2,371,586	2,214,790
		手数料	37,590	35,012	35,962	31,850	31,247	32,047
		寄付金	18,423	6,477	1,890	4,103	4,343	2,514
		経常費補助金	805,682	877,742	884,370	912,474	913,031	873,220
		付随事業収入	116,435	103,874	131,515	136,862	126,182	133,054
		雑収入	131,217	98,520	149,506	114,845	65,385	170,566
		収入計 ①	3,530,335	3,608,941	3,699,301	3,691,298	3,511,774	3,426,191
	教育活動支出	人件費	2,061,328	2,014,209	2,087,510	2,061,886	2,065,202	2,160,818
		教育研究経費	974,434	1,064,208	1,076,640	1,093,973	1,054,930	1,078,010
		管理経費	234,936	208,539	218,693	239,155	237,026	259,353
		徴収不能等	4,268	6,007	2,846	4,572	3,500	1,383
		支出計 ②	3,274,966	3,292,963	3,385,689	3,399,586	3,360,658	3,499,564
	教育活動収支差額 ①－②		255,369	315,978	313,612	291,712	151,116	△ 73,373
	外収入	受取利息・配当金	4,411	6,448	6,433	4,938	18,368	79,478
		収益事業収入	5,813	5,958	3,456	4,068	2,831	610
		収入計 ③	10,224	12,406	9,889	9,006	21,199	80,088
	外支出	借入金等利息	1,728	1,326	2,466	3,824	3,299	2,730
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	0
		支出計 ④	1,728	1,326	2,466	3,824	3,299	2,730
	教育活動外収支差額 ③－④		8,496	11,080	7,423	5,182	17,900	77,358
経常収支差額		263,865	327,058	321,035	296,894	169,016	3,985	

特別収支	特別収入	資産売却差額	0	52,764	9,349	4,644	25,063	11,659
		現物寄付	2,523	3,250	2,454	7,096	3,399	9,358
		施設設備補助金	7,448	14,581	15,753	4,515	0	833
		過年度修正額	505	0	0	243	61	0
		収入計 ⑤	10,476	70,595	27,556	16,498	28,523	21,850
	特別支出	資産処分差額	78,919	83,668	36,583	41,832	2,231	2,774
		過年度修正額	4,298	28,358	5,268	200	66	0
		支出計 ⑥	83,217	112,026	41,851	42,032	2,297	2,774
	特別収支差額 ⑤－⑥		△ 72,741	△ 41,431	△ 14,295	△ 25,534	26,226	19,076

経常収入	計	3,540,559	3,621,347	3,709,190	3,700,304	3,532,973	3,506,279
経常支出	計	3,276,694	3,294,289	3,388,155	3,403,410	3,363,957	3,502,294
事業活動収入	計	3,551,035	3,691,942	3,736,746	3,716,802	3,561,496	3,528,129
事業活動支出	計	3,359,911	3,406,315	3,430,006	3,445,442	3,366,254	3,505,068

基本金組入前当年度収支差額	191,124	285,627	306,740	271,360	195,242	23,061
---------------	---------	---------	---------	---------	---------	--------

財務比率

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収支差額比率	7.5%	9.0%	8.7%	8.0%	4.8%	0.1%
事業活動収支差額比率	5.4%	7.7%	8.2%	7.3%	5.5%	0.7%
人件費比率	58.2%	55.6%	56.3%	55.7%	58.5%	61.6%
教育研究経費比率	27.5%	29.4%	29.0%	29.6%	29.9%	30.7%
管理経費比率	6.6%	5.8%	5.9%	6.5%	6.7%	7.4%

② ア) 資金収支計算書（経年比較）

単位：千円

勘定科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
学生生徒等納付金収入	2,420,988	2,487,316	2,496,058	2,491,164	2,371,586	2,214,790
手数料収入	37,590	35,012	35,962	31,850	31,247	32,047
寄付金収入	18,423	6,478	1,890	4,103	4,343	2,514
補助金収入	813,130	892,323	900,123	916,988	913,031	874,053
資産売却収入	0	1,346,661	408,826	204,383	451,895	506,643
付随事業・収益事業収入	121,089	108,368	135,087	141,027	129,013	133,687
受取利息・配当金収入	4,410	6,448	6,433	4,938	18,368	79,478
雑収入	131,217	98,520	149,396	115,088	65,447	170,566
借入金等収入	0	78,100	634,000	0	0	0
前受金収入	375,165	418,302	358,860	298,543	296,711	348,578
その他の収入	138,089	161,123	131,985	167,428	120,721	70,645
資金収入調整勘定	△ 552,330	△ 509,031	△ 586,221	△ 483,235	△ 372,591	△ 519,449
前年度繰越支払資金	1,758,598	1,765,940	2,348,187	2,316,004	2,879,406	3,120,744
収入の部 合計	5,266,369	6,895,560	7,020,586	6,208,281	6,909,177	7,034,296
人件費支出	2,093,587	2,018,841	2,088,294	2,059,304	2,069,270	2,165,899
教育研究経費支出	640,663	757,560	742,215	749,723	709,790	744,768
管理経費支出	186,859	152,407	164,277	183,567	178,400	201,697
借入金等利息支出	1,728	1,326	2,466	3,824	3,299	2,730
借入金等返済支出	70,000	148,100	259,000	65,000	65,000	65,000
施設関係支出	75,411	200,625	860,752	161,420	27,936	28,642
設備関係支出	116,528	101,740	76,196	117,669	75,043	58,244
資産運用支出	294,553	1,098,911	499,654	2	599,073	996,293
その他の支出	238,876	234,940	196,558	215,960	224,643	184,771
資金支出調整勘定	△ 217,776	△ 167,077	△ 184,829	△ 227,594	△ 164,021	△ 224,374
翌年度繰越支払資金	1,765,940	2,348,187	2,316,003	2,879,406	3,120,744	2,810,626
支出の部 合計	5,266,369	6,895,560	7,020,586	6,208,281	6,909,177	7,034,296

イ) 活動区分資金収支計算書（経年比較）

単位：千円

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教育活動による資金収支						
教育活動資金収入計	3,529,176	3,607,478	3,699,308	3,691,394	3,511,773	3,426,214
教育活動資金支出計	2,916,876	2,928,808	2,994,786	2,992,394	2,957,394	3,112,365
差引	612,300	678,670	704,522	699,001	554,379	313,849
調整勘定等	△ 48,026	15,408	△ 34,821	△ 39,589	12,767	△ 51,705
教育活動資金収支差額	564,274	694,078	669,701	659,412	567,146	262,144
施設整備等活動による資金収支						
施設整備等活動資金収入計	7,448	14,581	15,753	4,515	0	833
施設整備等活動資金支出計	191,940	302,365	936,947	279,090	102,979	86,886
差引	△ 184,492	△ 287,784	△ 921,194	△ 274,575	△ 102,979	△ 86,053
調整勘定等	△ 11,798	△ 21,474	△ 68,028	35,536	△ 26,600	△ 6,055
施設整備等活動資金収支差額	△ 196,290	△ 309,258	△ 989,223	△ 239,038	△ 129,579	△ 92,108
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	367,985	384,820	△ 319,522	420,374	437,567	170,036
その他の活動による資金収支						
その他の活動資金収入計	12,161	1,447,715	1,052,714	216,239	473,157	586,731
その他の活動資金支出計	372,803	1,250,288	765,376	73,041	670,784	1,065,487
差引	△ 360,642	197,427	287,339	143,198	△ 197,627	△ 478,756
調整勘定等	0	0	0	170	1,398	△ 1,398
その他の活動資金収支差額	△ 360,642	197,427	287,339	143,028	△ 196,229	△ 480,154
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	7,343	582,247	△ 32,183	563,402	241,338	△ 310,118
前年度繰越支払資金	1,758,598	1,765,940	2,348,187	2,316,004	2,879,406	3,120,744
翌年度繰越支払資金	1,765,940	2,348,187	2,316,004	2,879,406	3,120,744	2,810,626

財務比率

教育活動資金収支差額比率	16.0%	19.2%	18.1%	17.9%	16.1%	7.7%
--------------	-------	-------	-------	-------	-------	------

③ 貸借対照表（経年比較）

単位：千円

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
固定資産	14,200,286	14,031,145	14,545,216	14,389,298	14,089,912	13,793,744
有形固定資産	13,901,140	13,744,505	14,283,037	14,123,153	13,818,051	13,529,708
特定資産	227,754	227,756	227,758	227,760	227,927	228,020
その他の固定資産	71,392	58,884	34,421	38,385	43,934	36,016
流動資産	2,310,797	2,678,422	2,770,408	3,082,651	3,450,894	3,794,545
資産の部合計	16,511,083	16,709,567	17,315,624	17,471,949	17,540,806	17,588,289

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
固定負債	1,009,463	954,638	1,257,477	1,195,978	1,116,318	1,040,037
流動負債	707,300	674,982	671,460	617,924	571,199	671,901
負債の部合計	1,716,763	1,629,620	1,928,937	1,813,902	1,687,517	1,711,938

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
第1号基本金	18,190,885	18,282,739	18,782,923	18,771,080	18,859,713	18,917,038
第2号基本金	0	0	0	0	0	0
第3号基本金	49,835	49,835	49,835	49,835	50,000	50,000
第4号基本金	238,000	238,000	238,000	238,000	238,000	238,000
基本金の部合計	18,478,720	18,570,574	19,070,758	19,058,915	19,147,713	19,205,038

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
翌年度繰越収支差額	△ 3,684,400	△ 3,490,627	△ 3,684,071	△ 3,400,868	△ 3,294,424	△ 3,328,687

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
純資産の部合計	14,794,320	15,079,947	15,386,687	15,658,047	15,853,289	15,876,351

負債及び純資産の部合計	16,511,083	16,709,567	17,315,624	17,471,949	17,540,806	17,588,289
-------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

財務比率

財務比率	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
純資産構成比率	89.6%	90.2%	88.9%	89.6%	90.4%	90.3%
流動比率	328.0%	397.6%	413.0%	499.7%	604.7%	565.0%
前受金保有率	617.4%	646.3%	772.3%	1050.1%	1196.0%	1072.5%
積立率	39.2%	44.3%	43.4%	48.6%	52.3%	53.2%

※前受金保有率は、修正前前受金保有率（運用資産／前受金）を適用。

2. その他

単位：円

① 有価証券の状況

有価証券の種類	簿価	時価	差異
債券	0	0	0
株式	0	0	0
投資信託	700,000,000	622,785,922	△ 77,214,078
合 計	700,000,000	622,785,922	△ 77,214,078

② 借入金の状況

借入先	期末残高	利率	返済期限
鹿児島銀行	25,000,000	0.85%	令和8年3月30日
鹿児島銀行	280,000,000	0.828%	令和14年3月31日
合 計	305,000,000		

③ 寄付金の状況

寄付金の種類	寄付金額
一般寄付金	2,157,700
特別寄付金	356,007
現物寄付金	9,358,607
合 計	11,872,314

④ 補助金の状況

補助金種別	補助金額
国庫補助金	491,490,100
(内、経常費補助金)	(311,995,000)
(内、修学支援交付金)	(179,195,100)
県補助金	347,980,388
市補助金	33,749,782
施設設備補助金	833,000
合 計	874,053,270

⑤ 収益事業

売上高	12,712,434
販売管理費	13,229,942
(内、学校会計繰入額)	(609,650)
法人税	71,000
当期純損失	587,501

3. 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分

令和6(2024)年度

志學館学園 経営判断指標判定表

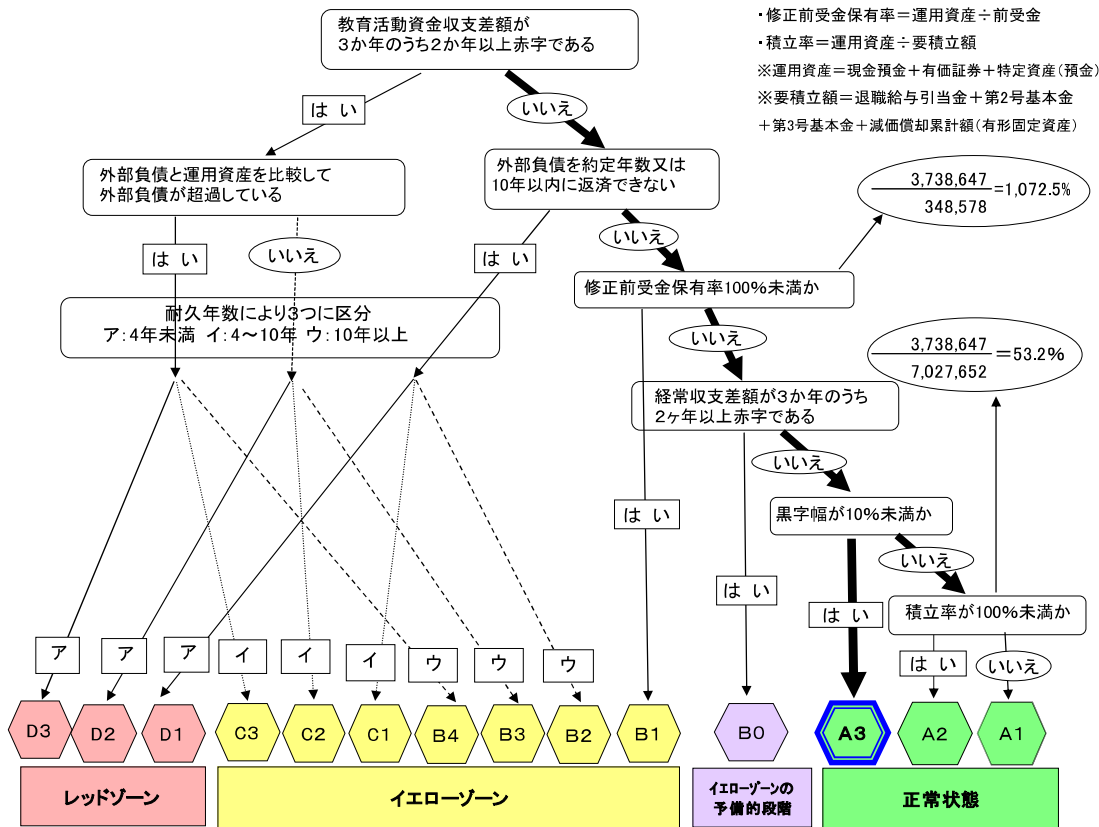
判定		A3	A3	A3	A3	A3	A3
		(単位:千円)					
Ⅰ 教育活動資金収支差額		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	教育活動資金収入(A)	3,529,176	3,607,478	3,699,309	3,691,395	3,511,774	3,428,214
	教育活動資金支出(B)	2,964,902	2,913,400	3,029,608	3,031,983	2,944,628	3,164,070
	C=A-B	564,274	694,078	669,701	659,412	567,146	262,144
	教育活動資金収支差額比率C/A	16.0%	19.2%	18.1%	17.9%	16.1%	7.7%
判定		○	○	○	○	○	○
Ⅱ 運用資産と外部負債の関係		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	運用資産(D)	2,316,172	2,703,433	2,771,427	3,135,092	3,548,671	3,738,647
	外部負債(E)	496,030	360,235	723,013	666,851	548,425	513,136
	F=D-E	1,820,142	2,343,198	2,048,414	2,468,241	3,000,246	3,225,511
	C>0且つF<0の時 F÷C(単位:年)	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>1 ***	C>0且つF>1 ***
Ⅲ 経常収支差額		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	経常収入(G)	3,540,559	3,621,347	3,709,190	3,700,304	3,532,973	3,506,279
	経常収支差額(H)	263,865	327,058	321,035	296,894	169,016	3,985
	経常収支差額比率(H/G)	7.5%	9.0%	8.7%	8.0%	4.8%	0.1%
		○	○	○	○	○	○

注1) 定量的な経営判断指標は平成24年度に精緻化され、7区分から14区分へ変更になった。

注2) 新会計基準に基づき、平成27年度より下記の2点が変更となった。

【変更点】①(旧)教育研究活動CF ⇒ (新)教育活動資金収支差額

②帰属収支差額(資産売却差額、資産処分差額を除く) ⇒ 経常収支差額



◆ 学校法人会計 及び 用語について（解説） ◆

学校法人会計は、その事業目的において公共性が高く、企業の様に営利を追求するものではないため、企業会計とは異なる学校法人会計という会計形態をとっており、学校法人の収入は極めて制約的で、増加を図ることが難しい財政構造となっている。学校法人が事業の持続性と財政の健全性を維持していくためには、長期的な視野に立った事業計画と、それを裏付ける収支均衡の取れた財政計画が必要となる。学校法人はそれを踏まえ予算に基づいた運営をしなければならず、予算と決算の差異が重視される計算書様式となっており、学校が持続性を確保するための収支均衡状態を目指すのに適した会計制度となっている。

【資金収支計算書】

・当該会計年度（4月1日～3月31日）に行った諸活動に対する全ての収入と支出の内容を明らかにし、支払資金（現金預金等）の顛末を明らかにするものである。

資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に近いもので、前年度から繰り越された支払資金を基に、当年度の収支の結果、翌年度に繰り越される支払資金が確定する計算体系になっている。

【事業活動収支計算書】

・当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容と均衡状態を明らかにし、学校法人の経営状況を表す（収支バランスを捉える）ものである。資金の増減を伴わない取引（引当金、減価償却費 等）は計上されるが、資本的支出（固定資産取得等）に充てる額は除いて計上する。本業である「教育活動収支」、本業外である「教育活動外収支」、臨時的な「特別収支」の3区分で収支の状況を把握し、分析することができる。

【貸借対照表】

・当該年度末（3月31日）時点での資産・負債・基本金の状況を表し、財政状況を明らかにするものである。資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度の収支状況を表す一方、貸借対照表はこれまでの財政活動における積み重ね（累積）の結果を表示する。

【経常収支差額】

・臨時的な特別収支を除く、経常的な収支バランスを表すもの。経常収支差額比率は、学校経営における利益の判断基準である。

【基本金】

- ・学校法人の機能を維持し、安定的かつ持続的に経営することを目指すために組み入れる。
- 第1号基本金・・・校地、校舎、機器備品、図書等の自己資金による固定資産の取得価額
- 第2号基本金・・・将来の固定資産取得に充てる為の施設設備投資額（計画的に組み入れる）
- 第3号基本金・・・基金として継続的に保持・運用する金額（本学園は奨学金基金）
- 第4号基本金・・・恒常的な支払資金に対応する運転資金額（文部科学大臣の定める額）

監 査 報 告 書

令和 7 年 5 月 19 日

学校法人 志學館学園

理 事 会 御中

評議員会 御中

学校法人 志學館学園

監 事 大 津 孝 

監 事 久 永 修 平 

私たちは、学校法人志學館学園の監事として、旧私立学校法（令和 5 年 5 月 8 日施行）第 37 条第 3 項及び学校法人志學館学園旧寄附行為（令和 2 年 4 月 1 日施行）第 15 条第 1 項の規定に基づいて同学校法人の令和 6 年度（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属明細表）を含め、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行いました。

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人志學館学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは旧寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。